

毎週金曜日

夜七時より

市民館三階

益ヶ崎夜間学校

みんなでつくろう

みんなの会館

三人よれば何とかの知恵

夜間学校 ニュース

1988年1月29日
西成区萩之茶屋2の
8の9 旅路の里気付
益ヶ崎夜間学校

マアボチボチ

不安定就労層とは...

今年の夜間学校は層としての日雇労働者のことを考えてみようとしているのだが、やはり「手帳を取り上げられた」という仲間が参加すると、現実の問題について、みんなで話をするといいことになって、中々思わぬところに話は進まないうが、それでも、自分達のことを「集団」として見る目、大きな集団としてのワーク組

みで考える習慣を持つことは大切なことだと思つたので、追求し続けていきたい。日雇労働者は、釜や山谷や寺などだけに存在するのではないことは、仲間が体験を通じて知っていることだろうと思う。ようするに、「寄せ場」日雇だけが日雇のすべてではないという事だ。「不安定就労層」という言葉と

仲間の死

本籍・住所・氏名不詳(自称は和田敏男)、年齢65歳位の男性。身長168センチ。ヤセ型。右下腹部に手術痕(直線で4センチ。たて型)所持品なし

右の者、昭和61年2月24日、草津市南笠町434、有限会社石山産業宿舍内において死体で発見される。昭和61年2月24日午前3時頃死亡と推定。死体は翌々日草津市火葬場で火葬に付し遺骨は草津市野々花霊苑に安置してあるので心あた

在日朝鮮人・韓国人の
指紋押なつ拒否断固支持！
定住外国人に市民権を

りのある方は、草津市福祉事務所まで申し出て下さい。

昭和61年2月28日
滋賀県 草津市長

先週は、奈良に仕事に行つた帰りに、意識不明となって奈良で入院、一年四ヶ月後に身元不明のまま死んだ仲間を紹介した。今週は飯場で死んでいった仲間の紹介。全国各地から来た仲間は、全国各地で働き、そして死んでいる。

手帳問題と仲間の死を考えると・・・

三、四月頃の陽気が続いたかと思えば、冷えこんでみたりと、今年の冬は、体調が不安定になりがちで、大変です。一月もそろそろお終い。今年最初の夜間学校は、昨年から続いている、切実の上ない、手帳問題から始まりました。

「新年早々でも手帳を取りあげられていゝ人がいるそうや。」

「職守で、去年あたりからヤミ印紙の調査を専門にする職員を作ったらしい。」

「どんぴじことをやるとるんや。」
 「要するに保険料をきちんと納めてる業者かどうかを千尋するわけや。年度末に精算してないところはリストアップして、その業者のスタンプがなりか、どうか、手帳の印紙と照合するわけや。」
 「それやったら印紙とはリスタンプを押した方をなんとかするのがスジと違つか。」

「釜も今は仕事が多いんやけどなあ、元旦に東組が金と餅を配ったけど、あいに集ったんがなんと三千人せ、ずらっと並んでたもんや。」

「あれだけの人が府方に押しかけていったら、ほとんどのことは解決するぞ。」

「前のニュースにのってた人もあんな死にはせんでもよかつたのにな。」

「まだ五のオセったやろ。前から思ってるけど、センターのシマッターの上るのが早すぎるぞ。どうしても早く起きることになる、十分疲れがとれんのに仕事に出なあかんわけや。」
 「シマッター開放をすすせたら近所でトイレをさめる、とか苦情が出るらしい。」

「それはそれで解決せんいかんけど、やっぱり体が大事や。」

「仕事があつてもみんな朝早いぞ。結局、仕事が少なくなった所の顔づけ対策やろ。」

「要するにみんな競争相手やという個人商店的な気持ち強いから、なかなか团结できんわけや、東組のんには集るけどない。」

「まあオセライせんやない。」
 「いや、あの金も結着はワシらの金がまわりまわってもどって来たんと違つか、釜のバク千でヤクザは生きとる。あいつらを食わしてゐるのは釜の労働者や。」
 「それに、釜やクザが大人しいのは競争があつたからや。いふこととてははいかん。年間百人もバクられるという経過があつたからや。」
 「要するに地道な团结が必要や」ということや。」